

2008年度決算説明資料

2009年4月28日

川崎重工業株式会社



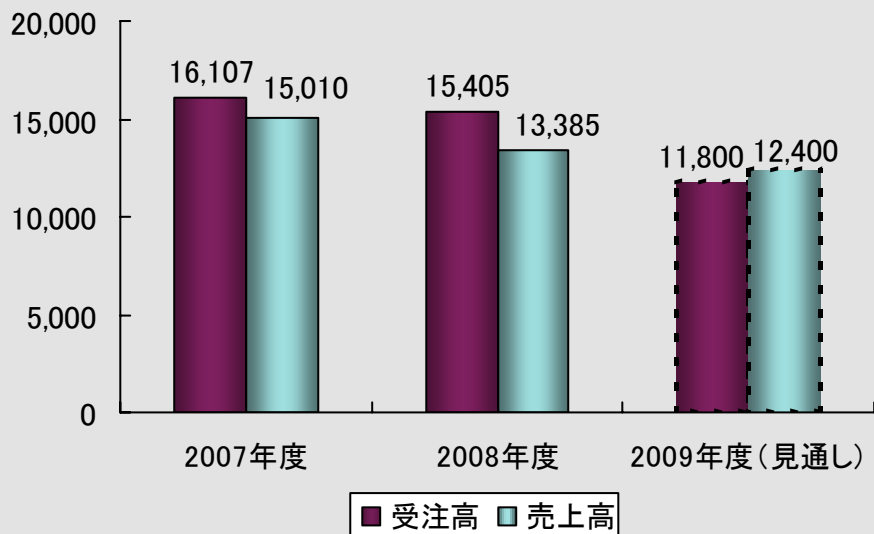
目次

・2008年度 連結決算の概要	1
・前年比損益増減要因分析	2
・有利子負債およびキャッシュフロー	3
・セグメント別決算実績と業績見通し	
船舶	4
車両	5
航空宇宙	6
ガスタービン・機械	7
プラント・環境	8
汎用機	9
油圧機器	10
・研究開発費・設備投資・期末従業員数	11
・2009年度セグメント別業績見通し	12
・2009年度セグメント別受注高の見通し	13
・連結セグメント別の状況(2008年度実績)	14

2008年度 連結決算の概要

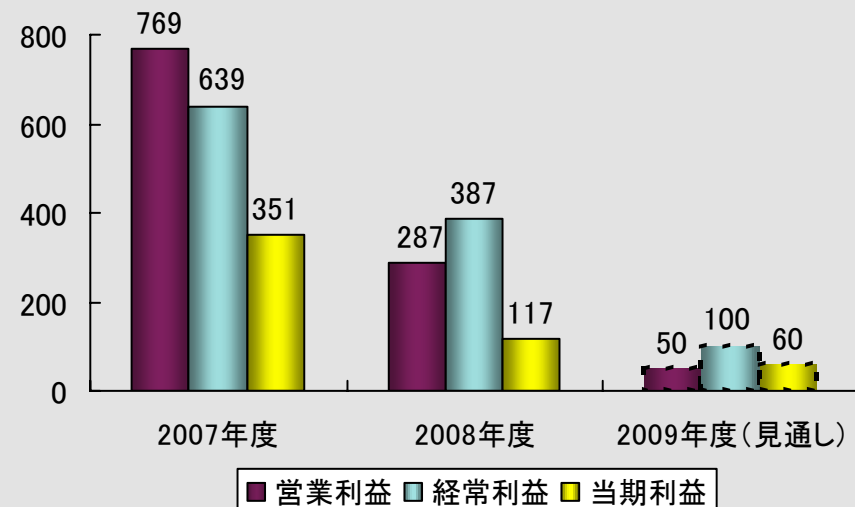
受注高・売上高

(億円)



損益

(億円)



売上加重 平均レート	2007年度 (実績)	2008年度 (実績)	2009年度 (前提レート)
ドル(¥/USD)	115	101	95
ユーロ(¥/EUR)	162	142	125

(億円)

	2007年度 (実績)	2008年度 (実績)	2009年度 (見通し)
営業利益	769	287	50
経常利益	639	387	100
当期利益	351	117	60

前年比損益増減要因分析

≡ 営業損益の増減要因

(▲481億円)

為替による影響	▲351億円
減収による影響	▲190億円
販売費及び一般管理費の増加	▲7億円
素材価格上昇による影響	▲194億円
棚卸資産評価会計基準変更の影響	▲40億円
税制改正に伴う減価償却方法変更の影響	▲16億円
売上構成変動・その他改善	+317億円

≡ 営業外損益の増減要因

(+229億円)

金融収支	+6億円
持分法による投資利益(前期76億円→当期87億円)	+10億円
為替差損益(前期▲115億円→当期103億円)	+219億円
その他	▲6億円

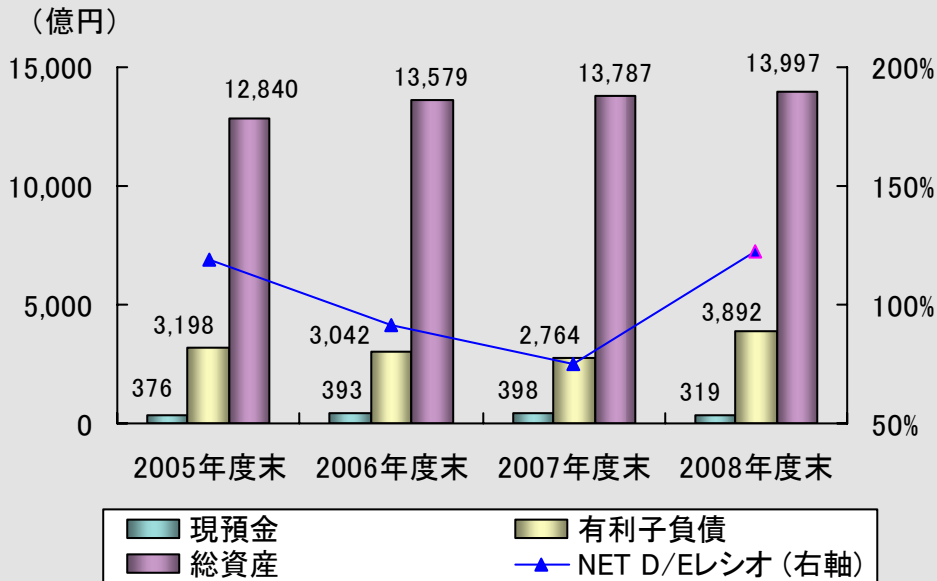
≡ 特別損益の増減要因

(▲91億円)

訴訟損失引当金繰入額(前期22億円→当期51億円)	▲29億円
退職給付信託設定損益(前期13億円→当期▲44億円)	▲58億円
減損損失(前期27億円→当期13億円)	+13億円
その他	▲17億円

有利子負債およびキャッシュフロー

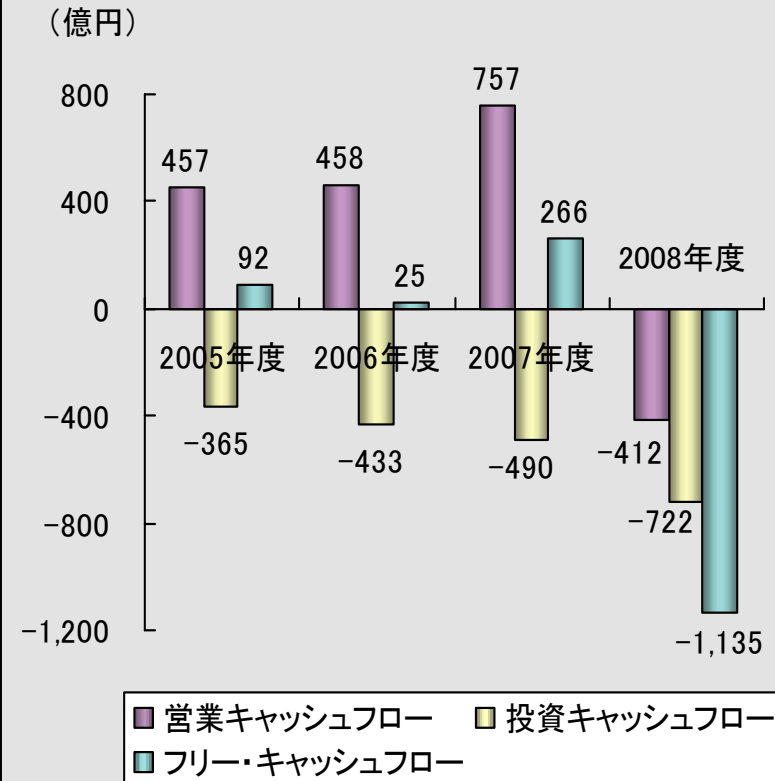
B/S



(億円)

	2005年度末	2006年度末	2007年度末	2008年度末
NET有利子負債	2,821	2,648	2,365	3,573
自己資本	2,375	2,904	3,131	2,904
NET D/ELシオ	119%	91%	75%	123%

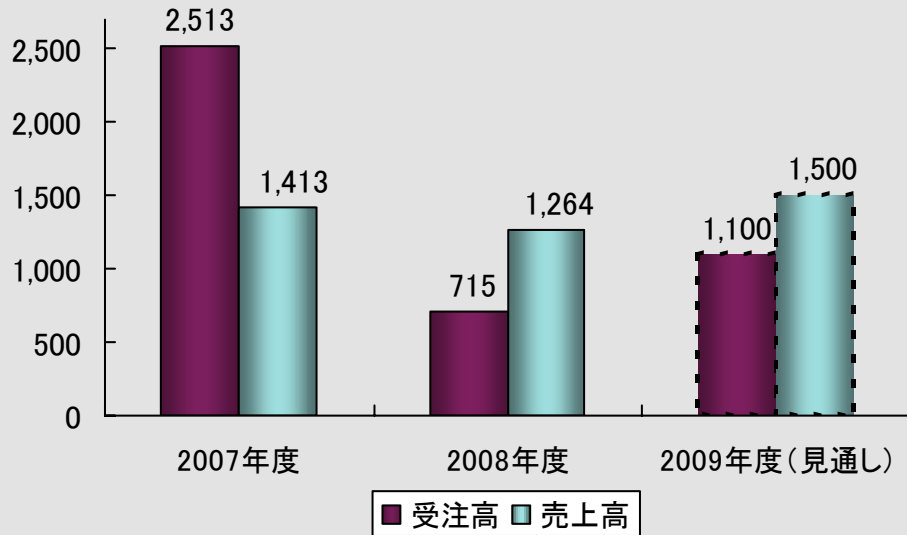
キャッシュフロー



船 舶

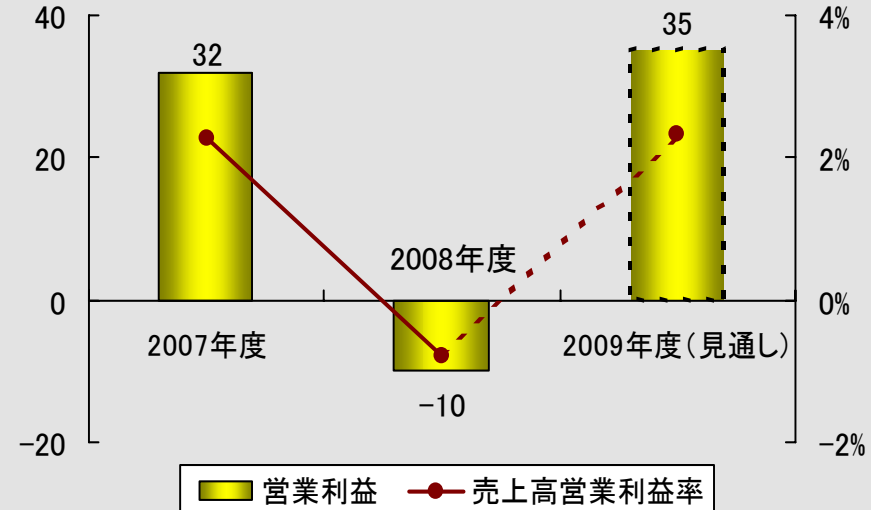
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



(隻)

	受注		売上	
	2007年度	2008年度	2007年度	2008年度
LNG船	2	-	6(6)	6(6)
小型LNG船	-	-	-	2
LPG船	3	1	3(1)	3(2)
VLCC	-	-	1	1
バルクキャリア	22	5	5	7
潜水艦	1	-	2(2)	2(2)
合計	28	6	17(9)	21(10)

注) 括弧内は進行基準売上(内数)

2008年度実績

- * LPG船1隻及びバルクキャリア5隻の受注
- * 大型船の売上計上減少による売上減
- * 売上減及び受注工事損失引当金計上の影響等による損益悪化

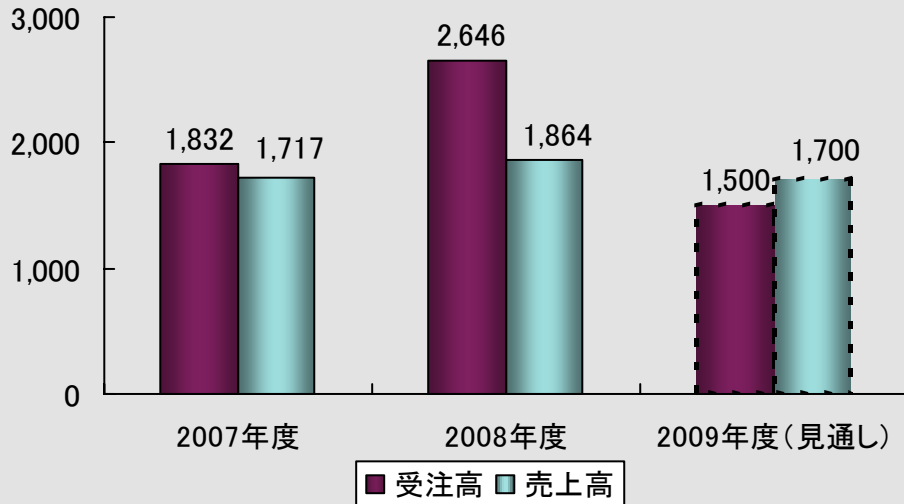
2009年度見通し

- * LNG船・LPG船の売上減、バルクキャリアの売上増
- * 2008年度の受注工事損失引当金計上の影響等による損益改善

車 両

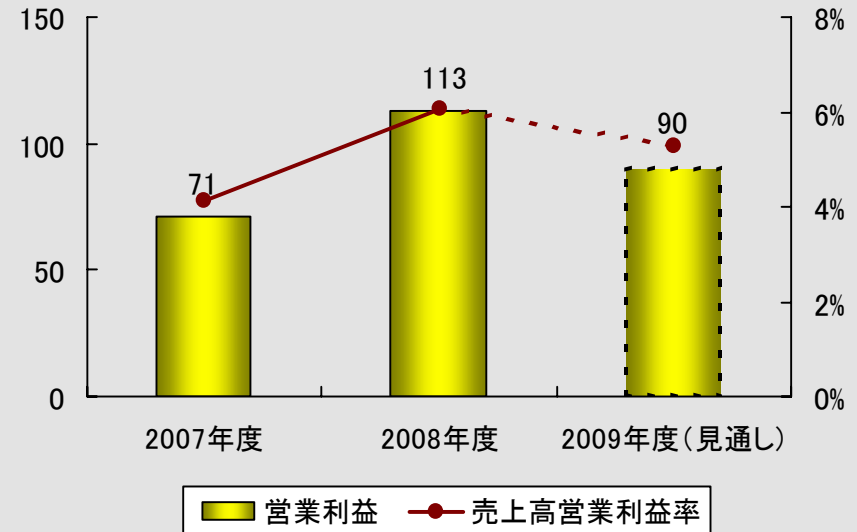
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



2008年度実績

[受注]

- * JR向け新幹線の大型案件、ニューヨーク市地下鉄R160追加車両(140両/約2.75億US\$)等の受注獲得

[売上・損益]

- * 海外向け鉄道車両の売上増による利益増

2009年度見通し

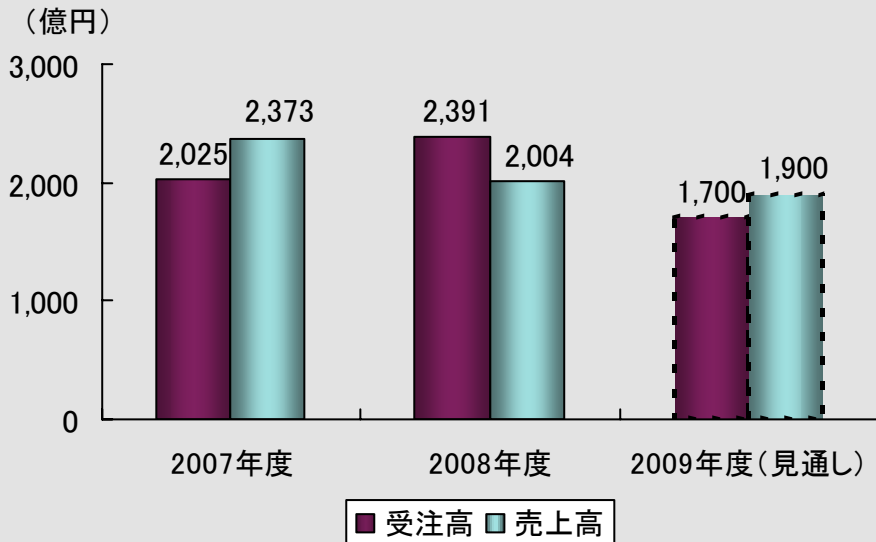
- * JR向け新幹線及び北米向け案件の売上増、建設機械部門のセグメント組替の影響による売上減(下記注参照)
- * 為替の影響(計画レートUSD=95円)等による利益減

注)2009年度(見通し)より建設機械部門(株KCM)の受注高・売上高・営業利益は、「その他」セグメントに含めている。

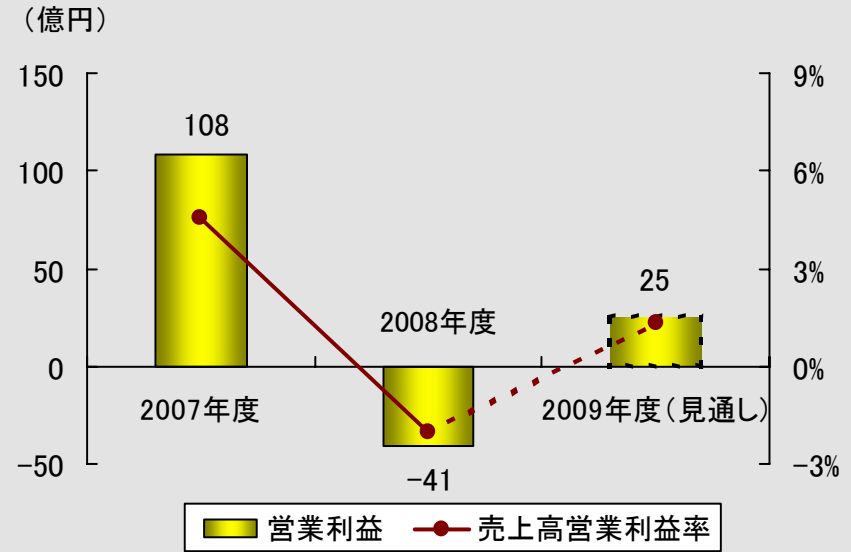
建設機械部門を除いた当セグメントの2008年度業績は以下の通り。
[2008年度 受注高:2,350億円 売上高:1,503億円 営業利益:123億円]

航空宇宙

受注高・売上高



営業利益・売上高営業利益率



< 民需分担生産品の売上機数 > (機)

	売上	
	2007年度	2008年度
B777	82	73
B767	12	13
Embraer170/175	69	46
Embraer190/195	79	112

2008年度実績

- * BOEING社向け民需分担生産品及び防衛省向けP-1固定翼哨戒機等の受注
- * 防衛案件の減少、BOEING社向けB777分担生産品の売上減及び為替の影響等による売上減
- * 減収及び棚卸資産評価損計上等による損益悪化

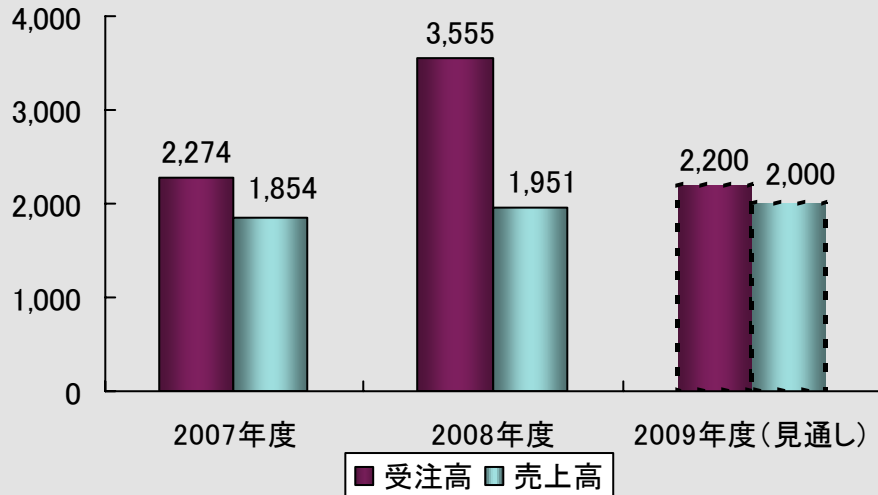
2009年度見通し

- * 防衛大型機(XP-1/C-X)開発プロジェクトの規模縮小等による売上減
- * 2008年度の棚卸資産評価減(民需案件)実施の影響等による損益改善

ガスタービン・機械

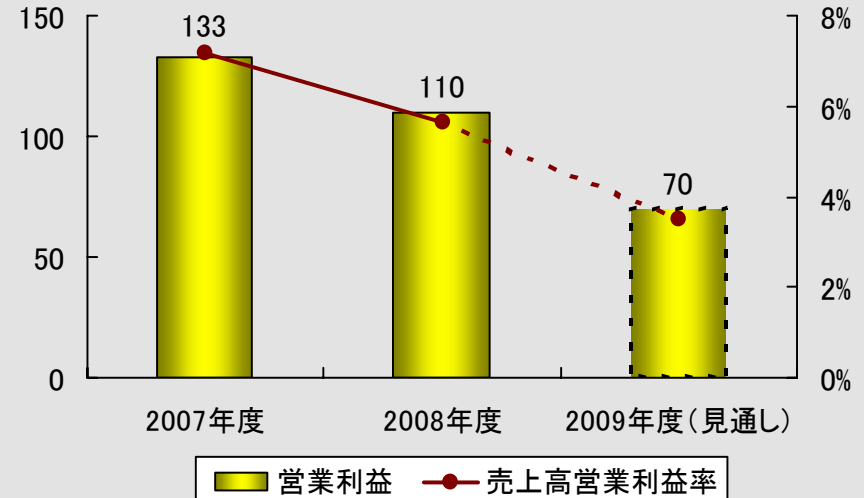
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



2008年度実績

- * Trent XWB航空機用エンジン分担製造品の新規受注、ディーゼル発電設備及び船用推進機の受注増
- * 民間航空機用エンジン分担製造品及び船用ディーゼル主機等の売上増
- * 為替の影響や棚卸資産評価損計上等による利益減

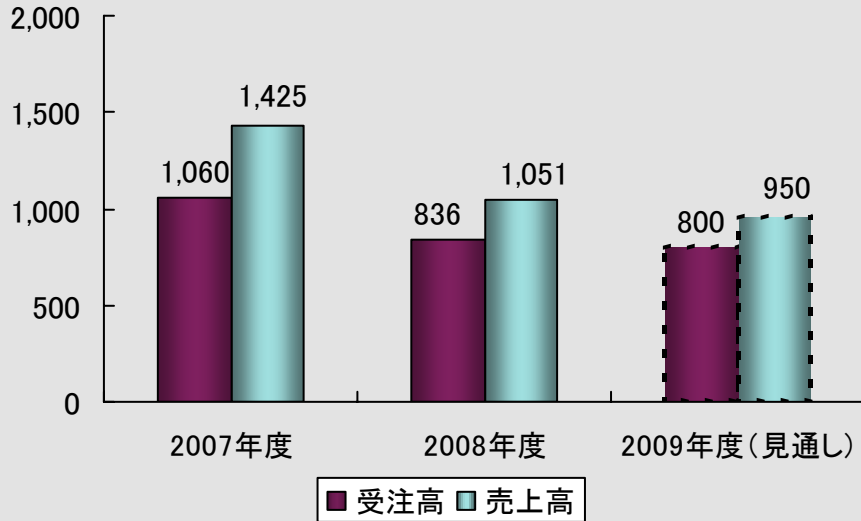
2009年度見通し

- * 前期並みの売上: (+)水力機械及び空力機械
(-)船用ディーゼル主機及び民間航空機用エンジン分担製造品
- * 為替の影響(計画レートUSD=95円)及び機械部門における研究開発費増加による利益減

プラント・環境

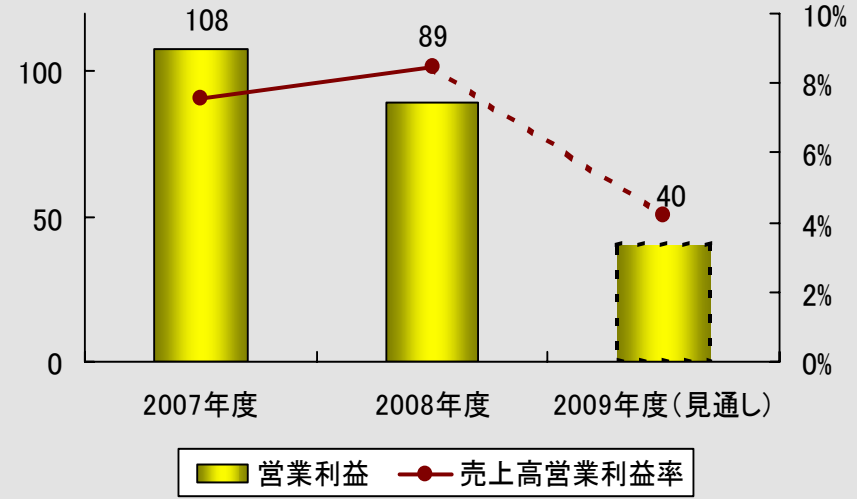
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



2008年度実績

- * 設備投資減速の影響等による受注減
- * 海外大型プラント案件等の売上減による利益減

(参考) プラント部門における2008年度の主な売上案件

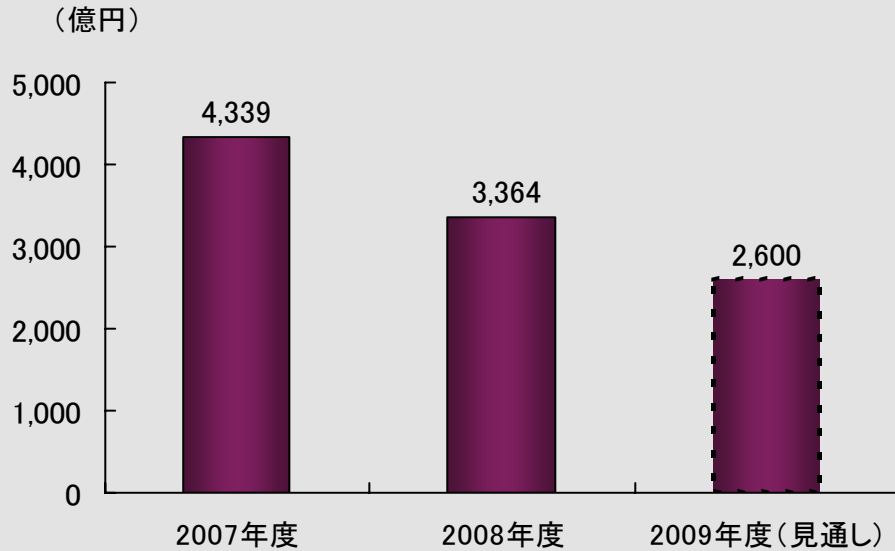
- ・韓国/フェロニッケル精錬プラント
- ・パキスタン/尿素プラント
- ・ベトナム/セメントプラント

2009年度見通し

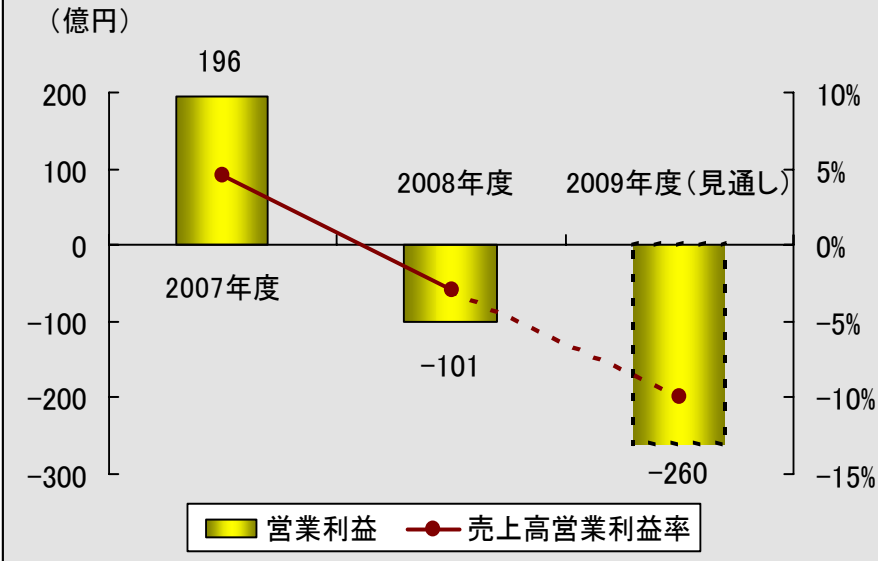
- * 選別受注の徹底
- * 海外大型プラント案件等の完工による売上・利益減

汎用機

売上高



営業利益・売上高営業利益率



<コンシューマー向け製品 地域別売上台数・金額 >

(単位 台数:千台/金額:億円)

仕向地	2007年度		2008年度	
	台数	金額	台数	金額
国内	20	152	19	147
北米	230 (124)	1,771	197 (118)	1,343
欧州	118	1,107	97	732
その他	151	396	210	449
合計	519	3,426	523	2,671

注1) 二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト(「ジェットスキー」)およびこれらの関連製品を含む。

注2) 括弧内は二輪車分を示す。(内数)

2008年度実績

- * 欧米向け二輪車、自動車・半導体関連の産業用ロボットの販売減及び為替の影響等による売上減
- * 減収及び為替の影響等による損益悪化

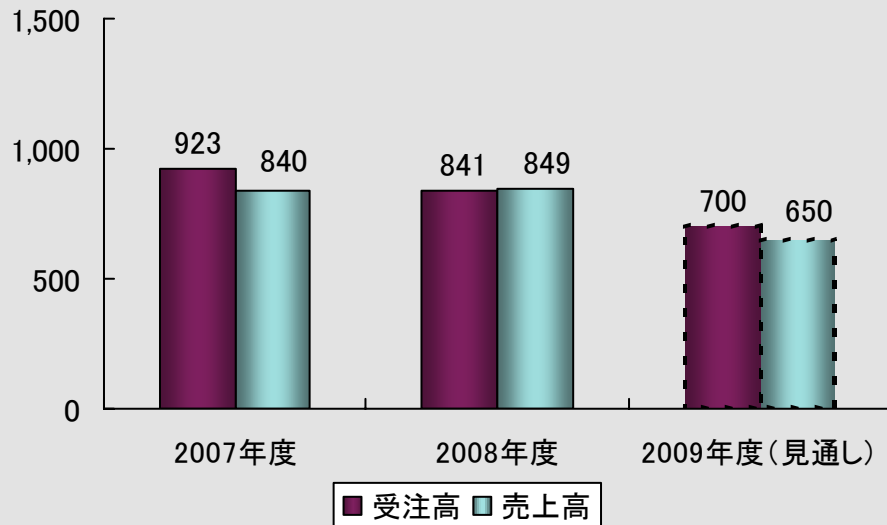
2009年度見通し

- * 大幅な減収: 世界的な景気低迷の影響により、汎用機部門では欧米の二輪車市場規模が前年比25%縮小、またロボット部門においても自動車・半導体製造装置メーカーの設備投資の低迷が続くと予想。
- * 減収、為替の影響(計画レートUSD=95円)及び二輪車のモデルミックスの変化(収益性の高い大型機種の上昇比率低下)による損失拡大

油圧機器

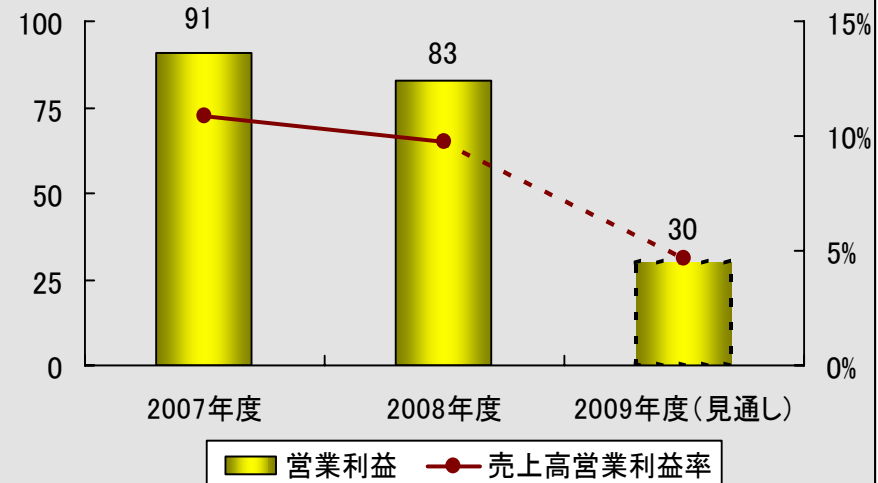
受注高・売上高

(億円)



営業利益・売上高営業利益率

(億円)



2008年度実績

- * 中国を始めとする建設機械向け油圧機器の売上増
- * 年度後半の操業低下及び素材価格の上昇等による利益減

2009年度見通し

- * 建設機械向け油圧機器の売上減による利益減

研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 見通し
研究開発費	362	382	400
設備投資	505	824	780
減価償却費	374	443	540
国内	23,542	24,311	24,600
海外	7,021	7,955	8,400
期末従業員数	30,563	32,266	33,000

2009年度セグメント別業績見通し

(億円)

	売上高		営業利益	
	2008年度 実績	2009年度 見通し	2008年度 実績	2009年度 見通し
船 舶	1,264	1,500	▲10	35
車 両	1,864	1,700	113	90
航空宇宙	2,004	1,900	▲41	25
ガスタービン・機械	1,951	2,000	110	70
プラント・環境	1,051	950	89	40
汎用機	3,364	2,600	▲101	▲260
油圧機器	849	650	83	30
そ の 他	1,035	1,100	42	20
合 計	13,385	12,400	287	50

2009年度前提レート
USD=95円/EUR=125円

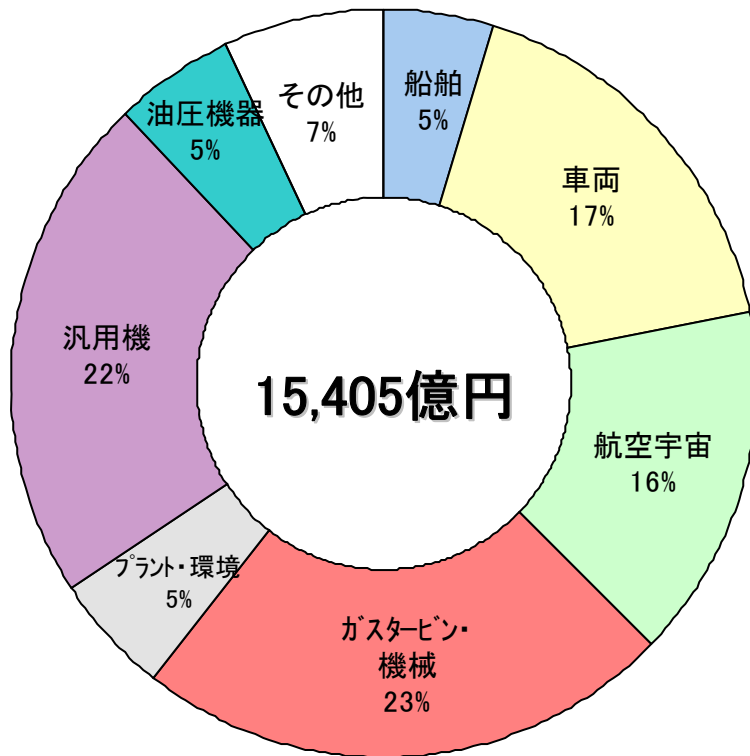
2009年度セグメント別受注高の見通し

(億円)

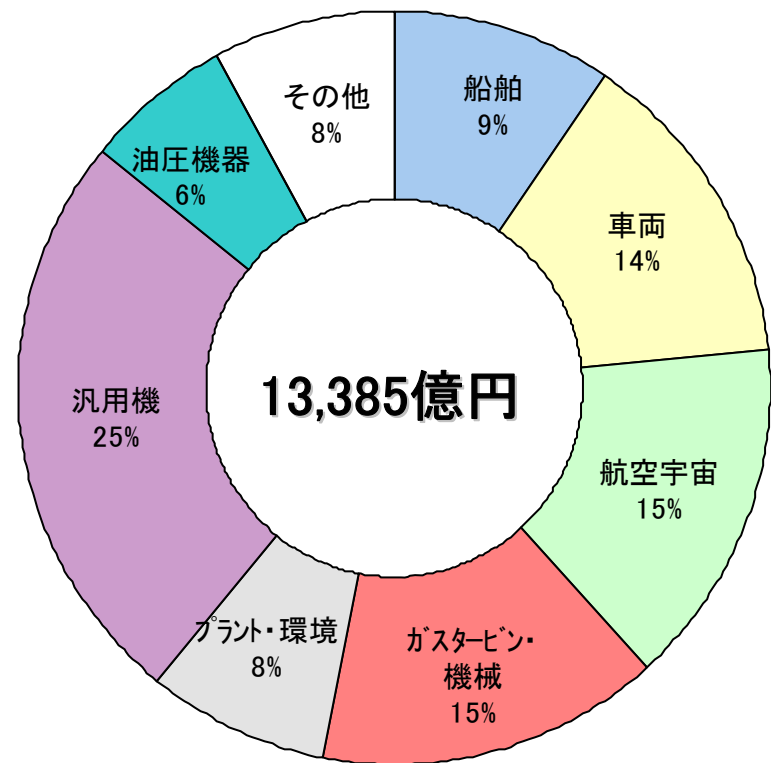
	受注高		
	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 見通し
船 舶	2,513	715	1,100
車 両	1,832	2,646	1,500
航空宇宙	2,025	2,391	1,700
ガスタービン・機械	2,274	3,555	2,200
プラント・環境	1,060	836	800
汎用機	4,339	3,364	2,600
油圧機器	923	841	700
そ の 他	1,139	1,055	1,200
合 計	16,107	15,405	11,800

連結セグメント別の状況(2008年度実績)

受注高



売上高



世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。